

## 産山村の魅力ポイント

■面積 60.80 km<sup>2</sup> ■人口 1372人(R6.10.17) ■指定地域 特定農山村・山村・過疎

## ○九州の中央部、山に囲まれた草原の農山村

阿蘇山、九重火山群および祖母山に囲まれ、雄大な草原が広がっている。



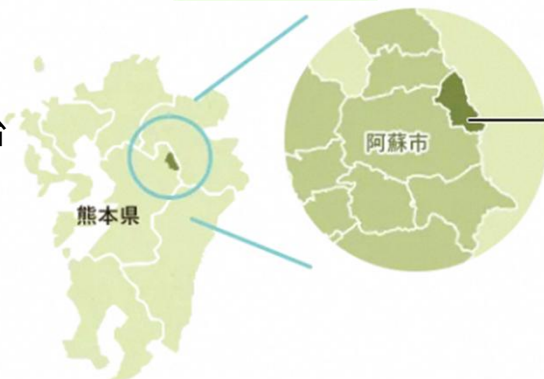
絶滅危惧種の村花ヒゴタイ



村の水道にも使われる池山水源



阿蘇、九重、祖母を望む一覽三山の台



## ○草原と湧水を生かした産業が盛ん

草原に放牧して育てた「あか牛」をはじめ畜産業が盛ん。

扇状に広がる土地を開墾し、山吹水源から引いた水で育てる「扇田」を

はじめとする稲作や、観光牧場、温泉などの観光資源も。



あか牛やヤマメ料理で観光客をおもてなし



湧水で育てる棚田百選「扇棚田」



R6にリニューアルし、人気のレストランとなった観光牧場

## 産山村の課題

## ■ 政策分野 公共施設等再編

### ○ 公民館等の遊休施設の活用

(現状)

- ・現在、遊休施設となっている村所有公共施設や、地域住民が減少する中での村営住宅の集約・再編が課題。
- ・活用の方法や方向性が定まっておらず、村所有ストックの維持管理に係るコスト増加が村財政を圧迫している。  
(村の動き)
- ・遊休施設となっている村所有の観光施設について、指定管理者を公募・選定。(R8.3月から営業開始)
- ・村営住宅再編において、PPP/PFI、NFT/DAO等を活用した官民連携事業の実装に向けた検討(業務委託)を進めている。

## 応援隊の活動報告

### ○ 伴走にあたって方向性の検討(5月～7月)

- ・打合せを月1回程度実施。「うぶやま未来計画(2020年3月策定)」に基づく各種施策等から、今年度の伴走の方向性を決定。

### ○ 産山村発注業務への参画(8月～)

- ・国交省の先導的官民連携支援事業を活用した産山村発注業務、「公営住宅等再編に係る官民連携事業の導入検討調査業務」へ参画。協働して方向性を検討。
- ・公営住宅等再編計画の検討、公営住宅建替え事業スキームの検討、モデル団地整備事業の実施方針の検討を実施した。
- ・業務の中で、国政局施策と親和性が高い部分については、それぞれの施策窓口として紹介した。



旧「花の温泉館」を「WAQUA UBUYAMA」に改称し、民間事業者による管理・運営を開始